

第3回 西淀川区地域福祉推進会議議事要旨

令和4年3月22日
午後6時30分～8時
区役所5階会議室

出席委員 13名

助言者 鈴木大介さん（大阪成蹊短期大学幼児教育学科准教授）

事務局 区役所 貴志保健福祉課長、井岡保健福祉課長代理、岡地保健福祉担当係長
区社協 佐藤事務局長、西川地域支援担当主査、松原

1. あいさつ

委員長 伊原委員長

2. 各部会からの報告

【資料2】：「ちょこっと♡助っ人ポイント制度」部会

- ・施設及び助っ人を募ったことが前回から大きく進展している
- ・助っ人登録人数…第1回：6名 第2回：0名（中止） 第3回：4名
※1月に登録した方がすでに活動を始めている
- ・8施設に意向調査を実施
- ・活動先…8施設に加え、2つのイベント
- ・マッチングについてはすでに実施をしている
- ・今後の課題…ステキなもの一覧をどうしていくのか

【質疑応答】

Q：施設への周知はどのように考えているのか？

- A：・現在はボランティアに対する説明会をしているが、今後は施設に対する説明会も実施予定である
- ・高齢の部分は、大阪市の介護ポイント事業があるため、介護予防ポイント事業でできないところをちょこ助で補う
- ※介護予防ポイント事業：65歳以上の方が対象

【鈴木先生コメント】

- ・インセンティブについて今後、検討はどのようにするのか？企業へのアプローチは？
→（事務局）プレ実施では、協力してくれそうなところに声をかけた
今後は広く周知を行う
- ・活動先一覧について、紙媒体とQRコードの内容を統一すべきではないか
→（事務局）今後検討する

- ・活動先一覧のQRコードが読み込めない
→（事務局）再度確認する

【資料3】：「ウエルカムバンク」部会

- ・部会の開催は1回のみ ※実施内容に大きな変更がないため
- ・数珠つなぎについて、今年度100件を目標としていたが、まん延防止等重点処置が発令されており、厳しい状況であった
- ・7か国（28名）の方にインタビューを実施
- ・西栄寺で交流会を実施
- ・インタビュー結果より
 - ①集える場所がない→西栄寺について情報提供
 - ②日本語をもっと勉強したい→西淀川区・淀川区の日本語教室を案内
※現在、コロナの影響により中止中
 - ③クリケットやサッカーがしたい
→区内には野球場が2か所
※野球場によっては、競技が可能
 - ④子育てに関する情報が欲しい→にこネットについて情報提供
- ・課題：部会に当事者（外国人）が入っていない
部会や推進会議に参画して下さる当事者を探す
- ・「ちょっと♡助っ人ポイント制度」と「となりのお節介さん」はきらりに掲載済みだが、「ウエルカムバンク」については、5月に取り組みをした報告を掲載予定

【委員コメント】

- ・にこネットのメンバーがインタビューに参加
→にっこりルームの利用につながり、子どもの遊びを通して親同士もつながった
- ・子どもは子ども同士おもちゃで遊んでいる一方、親は親同士中国語で会話をしている
- ・初日が避難訓練日だったため、どう避難訓練を説明すべきか考えるきっかけになった

【鈴木先生コメント】

- ・クリケットやサッカー等のスポーツで文化交流
「障がい者スポーツ×地域」は以前あったが、スポーツを切り口にしたつながりも可能だと思った
- ・数珠つなぎでつながった方はどのようなつなぎ方を行ったのか？
→チラシ：電子媒体があればわかりやすく、どのようなものか説明しやすい
写真やサイトのQRがあればいい
- ・バンクとしたちゃんとした形が必要
- ・できることを実施し、スマートなやり方だが、修正が必要なのか等を今後の展開を考える必要がある

【事務局補足】

- メンバーでLINE グループがある
→インタビューをした方と関係性が崩れないようにアドレス交換ができた
- 当面は今の形で実施
→今後、見直しをする

【資料4】：「ステキな“となりのお節介さん”」部会

- 取り組みの趣旨を広く区民の方に周知を行っている
- 「認定会」を実施した
- お節介さんが活動を始めたきっかけ等、ヒアリングができていないため、今後、登録用紙を配布後、「ステキな“となりのお節介さん”だより」で広報を行う
- まずは申請者にお知らせを出して、登録に関する資料を申請者からお節介さんに配布
※申請者とお節介さんの交流を図る
- 第1回の認定会で7名の方が「ステキな“となりのお節介さん”」に認定
※1人の方が複数名申請している
- インタビューの際等に使用する「ウエルカムバンクボード」のようなものを作成する
→（案）部会員からしゃもじを作りたいとの声があった
→（協力）ものづくりの企業から図面が届いた
- タコの呼び方やキャッチフレーズ案を募集

【鈴木先生コメント】

- スピード感が楽しい
- 地元企業を通してアイテム（しゃもじ）の作成はいい
- 「ステキな“となりのお節介さん”だより」の発行が楽しみである

3. 計画の評価について

- 3月7日に評価委員会を開催
- 中項目で評価
（中項目）①地域活動の展開 ②新たな活動の創出
→今年度についてはコロナのこともあるため、思うように活動できていない
評価についてご議論いただいた
- ウエルカムバンクの達成度について、目標件数（100件）より少ないが、中身のある内容だったためB判定とする
- きらりに掲載をすると反応があった（ちょこ助・お節介）

【映画上映会でのアンケート結果報告】

- ①あいあいプランの動画視聴（10分）

- ②「こんな夜更けにバナナかよ」上映
→アンケート実施：106件の回答

【鈴木先生コメント】

◎評価について

- 「4.役割を果たせないで終わり」は「できないからやめる」のか、「一旦達成できたからやめる」どちらなのか検討する
- 「具体的な取り組みの評価とする」とは、中項目で評価すると思っていたが、資料6・資料7は小項目ではないか
→中項目・小項目について、評価委員会を含めて検討する

【委員コメント】

- コロナ禍で全体像が見えていない部分があるため、中項目に着目できなかった
- 映画上映会アンケート結果より、「役に立つ」は期待値ではないか
→皆さまに浸透していくよう、広めていく機会をつくる

4. その他

- 部会メンバーは固定ではないのため、参加者を募集
- 気がつけばそれぞれ進んでいる（できるところを見つけて着実に動いている）
- 今年度、概要については話ができたが、内容はつめることができなかったため、推進会議で議論できるような資料を作成予定
- 任期は2年間（7月で2年）であるが、再任は妨げない

次回：7月頃 ※1年に3回開催予定